

平成30年度 第3回 海老名市社会教育委員会会議内容

日時：平成31年1月31日（木）

13:30～15:30

場所：えびなこどもセンター301会議室

【出席者】

委員	植松 慶子、栗山 明郎、三部 雅世、塩地 ひとみ、郡山 強、 前野 佳三、森田 壽、山田 信江
事務局	伊藤教育長、岡田部長、金指次長、伊藤次長、小宮次長、小林課長、西海課長補 佐、小藺副主幹

【議事】

(1) 社会教育計画の見直しについて

事務局から説明

～質疑応答～

・議題1「海老名市の社会教育の在り方」について

委員：学校応援団と自治会のつながりはどうなっているのか。

事務局：自治会の方が学校応援団に携わっていることは多い。

委員：自治会の方から積極的に学校応援団に関わっていただいている。

委員：地域によって、自治会の学校応援団の関わり方が異なっているのではないかと。積極的に関わっている自治会もあればそうでない自治会もある。

委員：確かにそういうこともあるが、全く関わっていない自治会はないと思う。少なからず関わっている。

委員：自治会が他の自治会がどのように学校応援団や学校に関わっているのか把握していないことがある。

委員：自治会だけでなく地域全体として活動を行っていることもある。自治会のイベントには子どもの参加は多い。

委員：魅力ある活動にしていくには事務局や引っ張っていく人を育てていかないと継続しない。

委員：学校が地域への説明が不十分だったというところもあるかもしれない。その点は丁寧に説明に努める必要があると感じている。ただ、学校応援団ということ言えば、13校それぞれの立ち上げの違いがあるので、平均的にしていくのではなく、それぞれの学校で作上げていければよい。

事務局：学校応援団にも地域コーディネーターの不足や負担等の課題もあるが、それらの課題をクリアしながら、学校応援団の活動を地域や自治会に周知して活動に積極的に参加してほしいと思っている。

事務局：現在の海老名市の社会教育図についてご意見を頂きたい。

委員：市民まつりや秋まつりは入っているが、自治連でやっているどんど焼きやコミセン祭りなどもある。

委員：図書館・文化会館・福祉会館で行っているサンカンフェスタもある。

委員：最近えびなダンスというのもできた。ダンス教室などもある。

委員：スポーツについては、少年少女スポーツクラブに任せてしまっているので、すべてを挙げだしたらきりが無いと思う。少年少女スポーツクラブという表現があれば十分だと思う。

委員：ラグビーやスキー教室、都市間交流で白石市と水泳大会も行っている。

委員：かかし祭りを自治連で行っている。サマースクールでかかし祭りを実施したところもある。

事務局：少年少女消防クラブもある。

事務局：多くのスポーツや文化・芸術・学習、体験などがあるので、子どもが参加したいと思えば多くの経験ができるということではある。

委員：それをどう周知していくかということである。

委員：学校も周知はしているが、参加自体は家庭や子どもに当然任せている。親の意向というのもある。

事務局：平成 32 年の 4 月に学校を通じて、スポーツや文化・芸術・学習、体験の一覧のようなものを配布してはどうか。

委員：お年寄り向けの冊子が作成されたので、参考に作成してもよい。

事務局：これらの意見を参考にして、海老名市の社会教育図を見直します。

事務局：海老名の子どもたちにどうなってほしいかについても議論していただきたい。

(2) その他

・海老名市立図書館及び門沢橋コミュニティセンター指定管理者候補者の提案事項について

事務局から説明

～質疑応答～

委員：工事費はどのくらいを見込んでいるのか。

事務局：提案の段階であり、詳細については今後協議を進める。

委員：駐車場は広くなるのか。

事務局：利用者も増えることが見込まれるので、指定管理と行政で検討していきたい。

委員：図書館とコミセンが併設されているので、環境としては恵まれている。

委員：飲食ができるようになれば、中央図書館に行っている若者たちが有馬図書館にも来るようになるかもしれない。

事務局：社会教育委員の皆さまからも様々な意見をたまわりたい。

・CCC の個人情報に関する報道について

事務局から説明

～質疑は特になし～

・その他

委員：相模国分寺の看板はどのようなものができるのか。

事務局：数か所に設置する。相模国分寺跡の特徴や解説、写真等の看板になる。QRコードも掲載して、解説や写真が閲覧できるウェブサイトに飛ぶようにする。
次回の社会教育委員会で詳細な説明をします。